

さんがんじま

三貫島オオミズナギドリ及びヒメクロウミツバメの繁殖地

指定種別：国指定天然記念物

指 定 日：昭和10年12月24日

所 在 地：釜石市箱崎町

三貫島は釜石港の北東11km、御箱崎東南1kmの所にある暖帯性植物が茂る無人島で、オオミズナギドリ・ヒメクロウミツバメの繁殖地です。島はタブの木を主とした原生林的な趣があり、これら海鳥とともにクロコシジロウミツバメやウミウも繁殖していて、鳥類の楽園ともいべき良好な環境です。

オオミズナギドリはミズナギドリ科最大の海鳥で、背部は灰色、体の下面は純白、頭部は褐色の斑点があり、翼長30cmほどです。早朝未明に島を飛び立ち、太平洋で小魚等を求め、夕方日没頃に巣に戻ります。島に来るのは2～3月頃で、巣穴は径20～30cm、長さ1～5mもある横穴で、6～7月頃に巣穴の奥で産卵し、ひなを育て初冬の頃に一齐に島を去っていきます。

ヒメクロウミツバメは、島の東端の岩場に営巣していて、巣穴は径10cm内外で、時にはオオミズナギドリの古巣を利用するといわれています。島には5月頃来て産卵し、10月頃南へ去って行きます。



オオミズナギドリ

